

北名古屋市市民協働推進事業補助金採択事業自己評価シート

事業名 北名古屋まんざいアカデミー

団体名 能田徳若万歳保存会

項目	着目点	自己評価	自己評価コメント
公益性 公共性	・事業の紹介を積極的に行い、市民に開かれた事業でしたか	◎	広報・北名古屋タイムズ・トッピー・回覧板・駅構内のポスター・チラシ設置、SNS を活用し広範囲の市民に対しアピールが出来たと感じる。
	・事業を実施することにより、不特定多数の市民の利益増進につながりましたか	○	不特定多数が市の文化財である能田徳若万歳を知るきっかけにはなった。その事自体が文化の共有という意味で大きな利益になったと思う。
	・事業を通じて市民の理解や参加、協力が得られましたか	○	今回は市の生涯学習課とも連携でき、地元の小学生と共演できた事が大きな成果であった。
実現性 計画性	・当初の事業計画、予算計画は適切でしたか	◎	予算に関しては、前回の経験が活き、上手くいったと思う。
	・事業を確実に実施するために適切な体制でしたか	◎	イベント自体と、生涯学習課との連携部分とで、上手く役割分担できた体制であったと思う。
先駆性 協働性	・新たな成果や仕組みを生み出すなどの波及効果がありましたか	○	市と協力して小学校と一緒に舞台へ上がる、他万歳団体との協働など今後に繋がる波及があった。
	・他団体とうまく協働し、事業を進めることができましたか	○	尾張万歳今枝社中さんや、講師の大沼先生など、限られた予算で仕事を引き受けていただき助かった。
	・行政や団体が単独で行うより、効果をあげることができましたか	○	行政が本気で予算を組んで動けばより効果的とも思いますが、現体制では最高の効果であると考えている。
継続性 自立性	・事業を継続するための計画、工夫、協力体制ができていますか	△	とにかく高齢化という時間制限がある為、事業を継続的に行う事には無理が必要な体制である。
	・自己資金の確保に努めていますか	○	今年度は新たな文化事業財団への融資申請なども行い、努力している。
事業効果 有効性	・費用対効果を考え、経費削減などの工夫をしましたか	○	市民活動推進課の協力で、非営利事業として体育館を借り募金箱を置けたのは大きな効果です。
	・当初の目標、目的どおりの成果が得られましたか	△	現時点では会員も増えず成果は感じられないが、未来で大きな成果に繋がると信じている。

自己評価：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全然できなかった ーわからない 又は該当しない